



木村洋子議員

NPO問題 町の姿勢を伺う 詳細は申し上げられない

問 議会調査特別委員会での聞き取り調査において、B & G 体育館の無断改築について、元町幹部はトイレや厨房などの改築に寛容だと受け止めたが、緊急雇用創出事業の中で改築が行われたのは異常ではないか。

佐藤町長 第2回口頭弁論を目前に控え、詳細を申し

上げられない部分がある。B & G 体育館の無断改築・改修については、事業委託金の浪費、不明朗会計として、緊急雇用創出事業とは関連のない支出の具体例として訴状に記載しており、一つの争点となっている。

被災商工業者への支援策は 町単独事業を設置

問 震災で再建の目途が立たず、廃業する商工業者が見受けられるが、実情は。

佐藤町長 商工会会員の被災状況は、震災前の会員数461、うち被災会員数337、うち再開数が209、廃業数79、未再開他49であり、被災事業者の約6

割が何らかの形で営業を再開している。

問 人口流出を防ぐため、なりわいの再生が不可欠である。新規参入の商工業者に対して適切な支援を行い、励みになるようにすべきでは。

佐藤町長 被災者である新

規参入の商工業者は、国の制度による創業補助金、町単独事業である未利用店舗活用支援事業費補助を活用することが出来る。町の融資制度に開業資金を設け、利子補給も行っている。条件が整えば利用可能である。

仮設住宅の有効利用を 随時調査し対応する

問 長期にわたり狭い仮設住宅に多人数で生活し、ストレスで体調を崩す人がいる。対応と改善策は。

佐藤町長 健康状況の変化を把握するため、保健師・看護師等による年一回の全戸訪問を実施している。支援が必要な人について、関係機関と連携し、定期訪問をしている。体調不良の連絡があれば随時訪問し、保健指導を実施している。

問 仮設住宅に実際には住

んでいないのに、倉庫のように使っている住民がいるようだ。実態を把握し、有効利用に努めるべきでは。

佐藤町長 そのように使っている実態があれば、随時調査し有効利用に努める。

問 仮設住宅の部屋が狭いことがストレスの一因になっている。荷物より人が優先であり、空室の柔軟な利用を考慮すべきでは。

阿部建設課長 状況に応じて対処する。



有効利用が望まれる仮設住宅

その他の質問

- ◆被災地の交通の確保について
- ◆埋蔵文化財発掘調査作業員の安全確保について